

2015 ~ 16 Autumn & Winter Special Edition

Made in Japan

rin project

We work all things together
with bike



Riding
&
Working



www.rinproject.com





no.2073

Made in Japan

60/40 Workers jacket

60/40 ワーカーズジャケット

Price : ¥18,000 + 税 (tax)

Size : S M L

60% Cotton & 40% Nylon fabric

Water Repellant Finish : 撥水加工

Color

Orange

Khaki

Beige



no.3075

Made in Japan

Cycle denim

サイクルデニム

Price : ¥12,000 + 税 (tax)

Size : S M L XL

12oz Stretch denim :

12oz ストレッチデニム

Color

Indigo

Black





photo / rocky

no.2083

Made in Japan

2 Layer mods coat

2レイヤー モッズコート

Price : ¥25,000 + 税 (tax)

Size : M L

2 Layer waterproof breathable fabric

2レイヤー 透湿防水素材

Color

Navy

Khaki



no.3001

Made in Japan

Strech cycle long pants

ストレッチサイクルロングパンツ

Price : ¥12,000 + 税 (tax)

Size : XS S M L XL

Improved Pedaling Flexibility,
with reinforced saddle patch and uncle straps.

裾バンド、サドルパッチ、自転車に乗りやすい立体縫製

Color

Black

Khaki

Beige







no.3089

Made in Japan

Cycle cargo pants

cool max jersey

サイクルカーゴパンツ クールマックスジャージー

Price : ¥15,000 + 税 (tax)

Size : S M L XL

Moisture wicking fabric : 吸汗速乾素材



Color

Beige

Gray

Color

Navy

Violet



no.3090

Made in Japan

Cycle cargo pants million hot

サイクルカーゴパンツ ミリオンホット

Price : ¥13,000 + 税 (tax)

Size : S M L XL

High-heat-of-absorption textile materia :

吸湿発熱繊維







no.2090

Made in Japan

Nylon parka

ナイロンパーカー

Price : ¥12,000 + 税 (tax)

Size : S M L

Water Repellant fabric :
撥水素材

Color

Blue

Khaki

Beige



no.3094

Made in Japan

Cycle cargo pants camouflage

サイクルカーゴパンツ カモフラージュ

Price : ¥15,000 + 税 (tax)

Size : S M L XL

Stretch camouflage fabric :
ストレッチ迷彩生地

Color

Green
camo

Brown
camo



no.1036

Made in Japan

Air roll pack

エア ロール バック

Price : ¥18,000 + 税 (tax)

Air circulation back panel : 背面通気機能

Color

Black

Orange

Khaki



no.4002

Made in Japan

Casque leather

Limited edition

カスクレザー (限定色)

Price : ¥12,000 + 税 (tax)

Size : M L

Color

Limited
color



no.1034

Made in Japan

Rinko bag front/rear wheel

前後輪行バッグ

Price : ¥ 7,000 + 税 (tax)

Take off front/rear wheel : 前後の車輪を外して収納

Color

Black

Blue



no.5073

Made in Japan

3 way handle bag canvas

3way ハンドルバッグ (帆布)

Price : ¥ 7,000 + 税 (tax)

Color

Khaki

Three-way bag for everywhere (Shoulder bag and fanny pack)
 ハンドルだけでなくショルダーやウェストバッグとしても使用可能

no.1035

Made in Japan

Saddle bag canvas (big size)

サドルバッグ帆布 (大型)

Price : ¥13,000 + 税 (tax)

Around 7 L : 約 7 リットル

Color

Khaki**no.8007**

Made in Japan

Wind shelter glove

ウィンドシェルターグローブ

Price : ¥ 7,000 + 税 (tax)

Size : S M L

Windproof fleece :

防風フリース素材



Color

Black**Gray****no.5070**

Made in Japan

Tour guide (iPad mini)

ツアーガイド (iPad mini)

Price : ¥ 5,000 + 税 (tax)

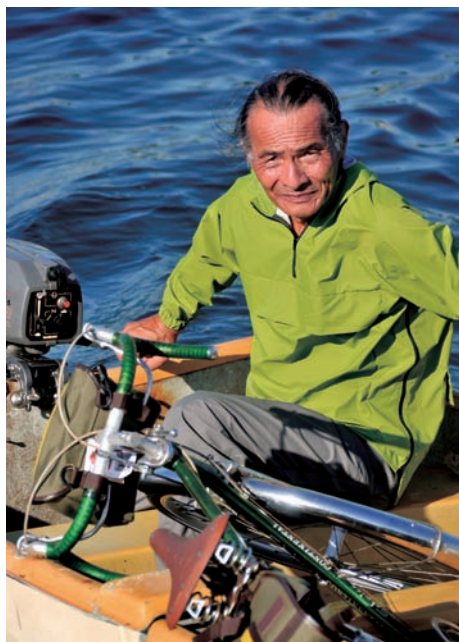
Tablet holster with backpacks :

バックパック用タブレットホルダー

Color

Black





no.2084

Made in Japan

3 Layer frog jacket

3 レイヤー フロッグジャケット

Price : ¥14,000 + 税 (tax)

Size : M L

3 Layer waterproof, breathable fabric :

3 レイヤー 透湿防水素材

Color

Blue

Green



no.3096

Made in Japan

3 Layer over pants

3 レイヤー オーバーパンツ

Price : ¥12,000 + 税 (tax)

Size : M L

3 Layer waterproof, breathable fabric, air circulation system :

3 レイヤー 透湿防水素材, 蒸れ防止機構

Color

Gray



no.2089

Made in Japan

Cycle sweater

サイクルセーター

Price : ¥22,000 + 税 (tax)

Size : M L

Traditional pure British Wool :
伝統的な純英国羊毛を使用

Color

Gray

Brown



no.3088

Made in Japan

Cycle short pants

tweed

サイクルショートパンツ ツイード

Price : ¥14,000 + 税 (tax)

Size : S M L XL

Stretch tweed fabric : ストレッチツイード素材

Color

Gray

Brown



no.3098

Made in Japan

Cycle short pants

million hot

サイクルショートパンツ ミリオンホット

Price : ¥12,000 + 税 (tax)

Size : S M L XL

High-heat-of-absorption textile material :
吸湿発熱繊維

Color

Violet

Navy



Great to see you again.
Let's drink together tonight.

no.2088

Made in Japan

Pull sweater

プルセーター

Price : ¥20,000 + 税 (tax)

Size : M L

Traditional pure British Wool :
伝統的な純英国羊毛を使用



Color

Beige

Brown



no.3092

Made in Japan

Polo pants

ポロパンツ

Price : ¥16,000 + 税 (tax)

Size : S M L XL

Easy to move, traditional & next-generation style :

動きやすく、伝統的で斬新なスタイル

Color

Black

Khaki



no.2091

Made in Japan

Windbreaker

ウィンドブレーカー

Price : ¥11,000 + 税 (tax)

Size : S M L

Windproof & lightweight fabric : 軽量防風素材

Color

Gray

Navy



The worker who love to
rinproject wear without cycling.

Chat Noir LTD.

1-2-3-1F Matsugaya Taito-ku Tokyo

zip 111-0036 / JAPAN

tel ; +81-3-3842-2883

MAIL: english@rinproject.com

株式会社シャノア

〒 111-0036 東京都台東区松が谷

1-2-3 ニュー松が谷マンション 1F

tel :03-3842-2883 fax:03-3842-2889

MAIL: info@rinproject.com

*このカタログ掲載商品のカラーは屋内や屋外など光源により見え方が変わります。印刷の都合により実物とは異なる場合がございます。また、予告無く仕様を変更する場合がございます。予めご了承ください。

All rights reserved : 無断掲載を禁ず

www.rinproject.com



初版発行 : 2015年9月15日



輪行組も陸走組も七時に桜木町に終結。



かなり暑いのでペース配分が難しい。



こまめに休憩。目的地まであと少し。



到着すると既に。後仕上げを待つだけ。



うまい。やはり暑い日は鰻に限る。

三浦半島 鰻ツアー



8月1日。午前7時に横浜の桜木町に集合した。早朝から蒸し暑い日であった。目指すは三浦半島の最先端の三崎港にある鰻屋だ。土用丑の日が近いから、誰かの一声がきっかけでこのツアーが企画された。

7時台の日は高くは無いが、日光が肌を差し、湿気が体にまとわり着く中、葉山経由で三浦港に向かう。普段の走りより押さえ気味のペースで、到着時間を推測して鰻屋の店主に伝える。到着してすぐに焼きたてを食べて頂きたいという店主の計らいだ。

■ 鰻を捌く。背開きした鰻を程よい大きさに切り、串を通し備長炭でじっくり焼き上げる。

葉山に入ると風は海風が変わった。時折見せる相模湾に視線を奪われながら、進路は南に向かう。ここで改めて店主に到着時間を伝える。

■ 蒸電で蒸すと鰻のふっくらとした食感が生まれるが、関西風を希望する場合、蒸電で蒸す。蒸電で蒸すと鰻のふっくらとした食感が生まれるが、関西風を希望する場合、蒸電で蒸す。

京急三崎口駅を越える。幾つかの上り下りを経て、三浦半島の最南端の港町にたどり着く。風は港町のものに変わった。そして城ヶ島大橋を望む鰻屋に無事到着。

■ 鰻を蒲焼にする。特製のタレに潜らせて香ばしく焼く。肝吸いに三つ葉を刻み入れ、重箱に飯をよそい、焼き上がりに備える。タレを飯に絡ませ、焼きあがった鰻を乗せる。出来上がりだ。

走り終えて一息ついた後、さほど待つこと無く出来立ての鰻重を堪能するのであった。



予約必須

電話での確認をお願いします。

電話 〇四六(八八二)〇七六四

神奈川県三浦市 三崎二丁目十四ー五

(出来上がるまで 約一時間かかります)

三浦屋ではご注文を受けてから鰻を捌いて備長炭で焼いて蒸して極上のタレで焼き上げています。

三浦半島三崎港の隠れ家



関東風活うなぎ

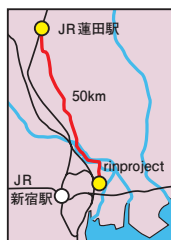




りんぶろ
雪部主催

2015 児沼 花見 ツアー

見沼代用水・緑のヘルシーロード～荒サイ～リンプロジェクト
毎年恒例 10kmの桜並木の中を花見サイクリング！



毎年恒例の花見ルート

人は何時からか桜の花を愛でて、季節を楽しむ。桜が咲くまでに人々は感動してるのか、散り行く桜に何か共感を得ているのか。花見の楽しみ方は人それぞれ。色彩を楽しむ。季節感を楽しむ。桜を含めた状況を楽しむ。本当に人それぞれである。

4月最初の土曜日は、リンプロジェクトが毎年恒例の花見ツアーを開催している。うらかな春の日差しを浴び、満開の桜を愛でながら、約50kmのクルージングだ。

今年の春は例年より雨の日が多いように感じられた。開催日の4月4日の天気予報も微妙で、もし決行したとしても、ツーリングと花見を両方同時に堪能できない可能性が高い。そして開催前日、天気予報が雨から曇りに変わり、開催の連絡を受けた。

最近のインターネットの天気予報も優秀で、幾つかのサイトを比較すれば、大きなはずれにはなら

ない。ツーリングの必需品だ。

9時過ぎには雨は上がりそうなので、参加メンバー16名は霧雨の蓮田駅を出発した。しばらく走り、桜がほぼ満開の緑のヘルシーロードに着く。

『霧雨』が『桜時雨』になった。

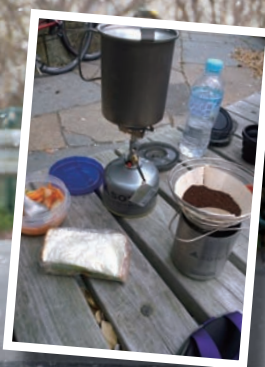
雨交じりで少し肌寒くても、今年も桜は確かにそこに咲いていた。私は今年の桜を愛でながら愛車を走らせる。去年とは違うこのヘルシーロードを走る。

しばらくして予報通り雨は止む。晴れの日よりも時間の流れが変わったかのように、花卉がゆっくり落ちてゆく。

リンプロジェクトの休憩名物、コーヒーマスターの野点が始まった。淹れたての暖かいコーヒーマスターが身体に染み渡る。

天気に不安を感じながら走るの出だしだけで、多少肌寒いのを除けば快適だったし、50kmとちょうど良いツーリングであったと思う。今年は幻想的な霧閉りの桜であったが、来年はどんな桜が待っているのだろうか。

Fin





一人より二人 二人より大勢が楽しい自転車の旅

今回のツーリングには、私を含め7名の女性に参加していました。スポーツバイクという、まだまだ男性の趣味といったイメージが強く、自転車を楽しむ女性はまだ多くありません。だから初対面としても、普段なかなか無い自転車女子との出会いに興味津々！

「その輪行バッグ、使いやすい？」
「ウエアかわいい！どこで買ったの？」
「普段はどこ走る？」——って。

女子だけの自転車トークは新鮮で楽しい。お風呂では大人の恋の指南書を説いていただいたりもして♡

ピワイチに参加した思い出の中でも一番の収穫は、離れた場所に住んでいる同じ趣味の人たちに出会えたこと。旅の相手は音楽でもなく、エアコンの効いた車でもなく、自転車を味わう贅沢だけじゃない！
なんてことを思い巡らせたある夏の日の昼、いつものカフェでパソコンを開き、桜前線を背に湖畔を走った過ぎし日を綴ってみる——。

ふむふむ。
次のツーリングはどこに行こう♪

食べるの大好き！ピワイチグルメ



—masami—

自転車歴5年。埼玉県から自転車の楽しみ方を発信する「ボタガール」としても活動中！人を見ればすぐ「旅にいこう」と誘う癖を持ち、リュック1つと自転車でもどこでも行きます。この夏は埼玉から静岡まで1週間の自転車に。次の自転車は紀伊半島！気が付くと旅のメンバーが増えていることが多い。



走ったら食べたい！
紅芋のアイス



朝からガッツリごはん。
いただきます。



1日目のランチは鮎や鰯が入った琵琶湖弁当！



2日目のランチ
「鮎家の郷」で近江牛！



今日もたらふく食べます！



どれもおいしいよ！



2日目。昨日は空を覆っていた雲も消え去り、キラキラと透き通った湖面を眺めながらペダルを漕いでいきます。琵琶湖を周回するサイクリングロードでは、レイクビューのほかに、雪解けを待つ比良連峰に緑の野に群立つ土筆など、早い春の景色に出会うことができました。きれいな空の青を映した湖の中に、ずっと立つ白鬚神社の鳥居は、その姿が近づくほどに美しく見られ、忘れられない景色となりました。

そして忘れられない景色がもうひとつ。琵琶湖大橋を渡った先で待っていた菜の花畑！

春霞でにじむ遠くの景色のなかに、鮮やかな黄色が目飛び込んできて迷わず寄り道！！

すごくキレイだった！！

この日は、道の駅でお買い物を楽しんだり、早めに到着して彦根城を観光したり、中には近江八幡まで足を延ばす人もいて、夜のうちに練った計画をそれぞれが楽しんでいました。ゴールは出発地点でもある彦根駅。彦根城を眺めながら、全員が色鮮やかな約80キロのサイクリングルートを完走しました。

Let's go biwako ride with us.

Second day



誰か豆換いてくれる？



白鬚神社が見えたよ



道のり順調♪左を見れば日本一の湖



今日も快晴！走るぞっ！



とうちゃくー。ひこちゃんとおバチリ！



後少し。ゴールはもう目の前だ！



彦根に帰ってきたよー



琵琶湖大橋。湖上を駆け抜けるよ！

NODATE Time



1日目は彦根駅から湖西の宿まで約70キロを走ります。途中、湖北みずどりステーションで琵琶湖名物の鮎を使ったランチをいただきたいり奥琵琶湖のゆるやかな登り道を越えて進みます。絶景ポイントの一つである海洋大崎では、琵琶湖を借景にした即席オープンカフェ「Cafe of the 野点」で一息。交代で豆を挽きながら「さっきの坂すこかったね」とか、「道迷ったら、地元のお母さんが道教えてくれたよ」「え、道迷ったの？笑」なんて話していると、あつという間にみんなの距離も縮まります。走るペースはそれぞれ違ってても、ここでは全員集合。のんびりおしゃべりしたり、写真を撮ったりしている、うんうん！ やっぱり旅っていいなって実感します。

自転車人が集まって、みんなが1番楽しかったのはやはり夜の宴。鍋に投入されたのは昼間の運動量を無視した大量の肉……。さらにその熱量を超えるほど白熱したサイクルアイテム争奪戦（ただのビンゴゲームなのに笑）あつという間に夜は更けていくのでした。



Let's go biwako ride with us.

First day



激坂キター！がんばれ！あとちょっと



道の駅で手に入れた観光マップは必需品



自分のペースで楽しく走ろう！



長浜城が見えるよ。博物館に寄る時間あるかな？



賞品獲得率100%でみんなニコニコ〜



ごちそうは鍋！鳥も豚も魚介も入ってるよ笑



最終コーナー！宿に着いたよ〜！



西近江七福神ていうのがあるらしい！神社巡りも楽しいね

私たちの Lake Ride

Let's go biwako ride with us.



『人』と『自転車』と『旅』
この3つが組み合わさると、素敵な景色や出会いはずーっと深く心に刻まれる。目を閉じれば、みんなとはしゃいだ湖畔の思い出が今も鮮やかに。きつとみんなと同じ気持ちのはず。
東京代表リンプロジェクトと、大阪代表のワールドサイクル共催の『ビワイチ東西合同ラリー』。総勢31名が春先の琵琶湖に集まり、私たちの旅が始まるのです。

2015 3/21~22

ビワイチ東西合同ラリー

リンプロジェクト&ワールドサイクル主催
滋賀県彦根市 > 高島市 > 彦根市 (琵琶湖周回ツーリング)



湖沿いのサイクリングロード。
走りやすいね



安全第一。ビワイチ スタート！



彦根駅にて出発前の集合写真。出発だ！

Touring Magazine

Vol.05 2015-16 Autumn / Winter

ALL STREET JOURNAL

Renaissance de cyclo tourisme

rh project

Lake Biwa round rally
BIWA-ICHI



Miura Peninsula
Unagi tour



Cherry-blossom viewing
2015



Let's go bike trip

